



# 株式会社メニコン

## 2021年3月期第3四半期決算説明資料

証券コード : 7780





## 決算のポイント

### ➤ 2021年3月期第3四半期 連結業績

売上高:前年同期比 **+0.1%** (増収)

前年同期比でメルスプラン会員数増加

メルス会員数 **134万人**

(2019年12月末:132万人, 2020年3月末:133万人)

新型コロナウイルス感染症の影響

売上総利益:前年同期比 **△1.6%** (減益)

原価率: 45.8% → 46.7%

営業利益:前年同期比 **+13.8%** (増益)

販売費及び一般管理費の効率的な使用

売上高販管費率の低減効果

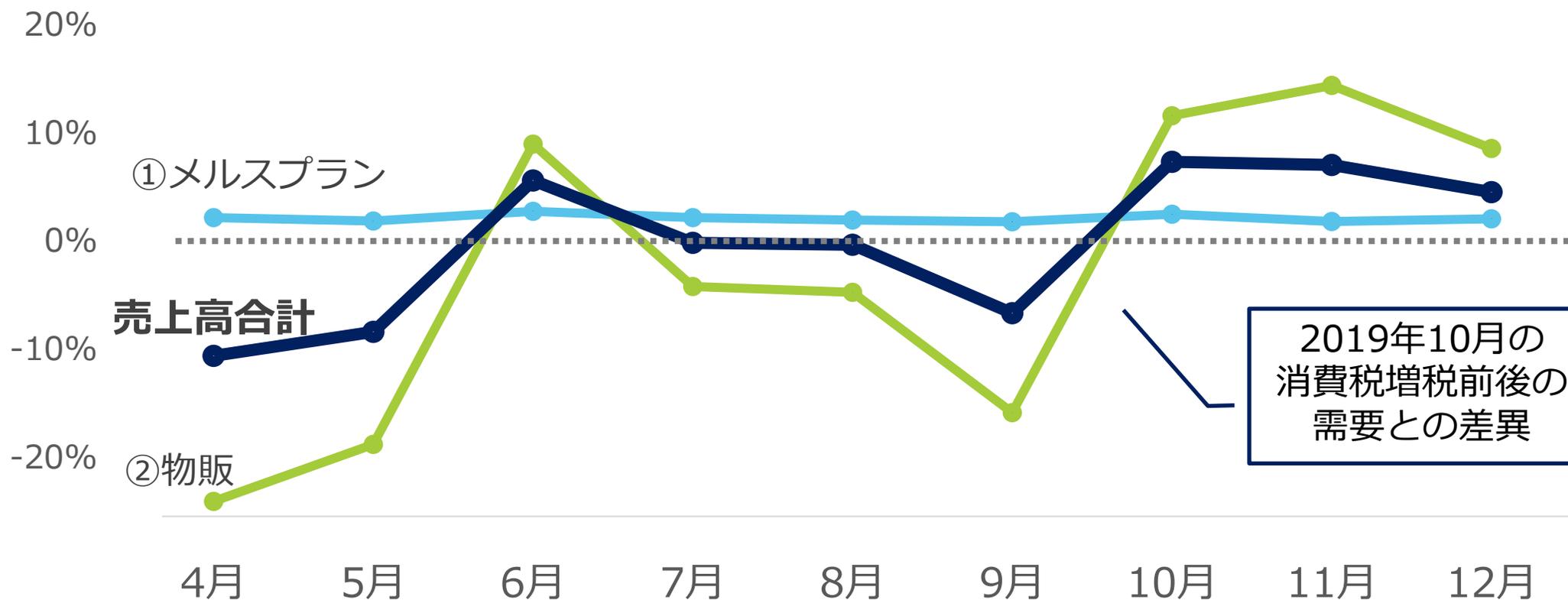
営業利益率: 9.6% → **10.9%**

# 新型コロナウイルス感染症の影響

- ①メルスプラン売上は安定的に前年同月比プラス
- ②物販売上※は新型コロナウイルス感染症の影響により変動

前年同月比

月次売上高 前年同月比推移



2019年10月の  
消費税増税前後の  
需要との差異

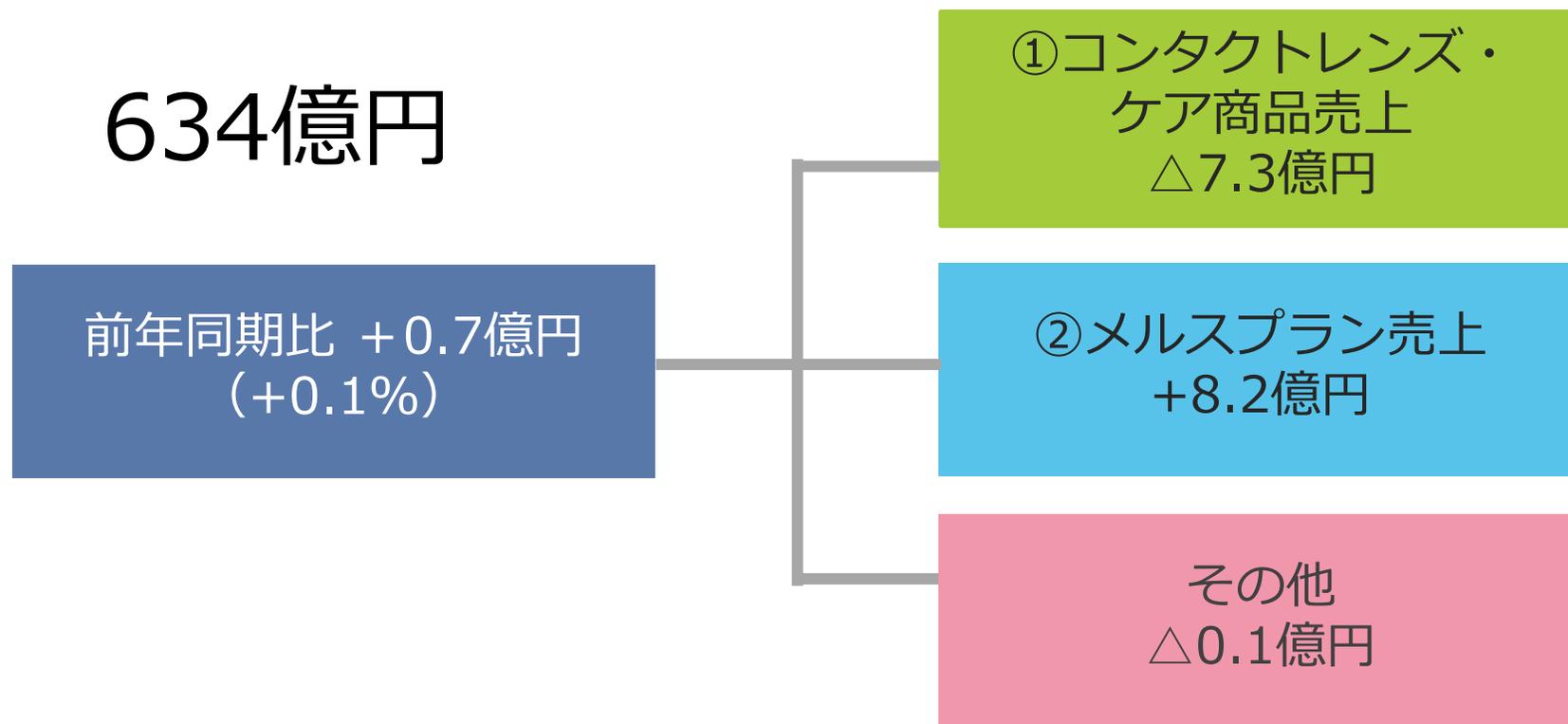
※物販売上：コンタクトレンズ・ケア商品売上

# 2021年3月期第3四半期連結業績サマリー

百万円

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期	
		第3四半期	前年同期比
売上高	<b>63,344</b>	<b>63,421</b>	<b>+0.1%</b>
売上原価	29,019	29,634	+2.1%
(原価率)	45.8%	46.7%	(+0.9pt)
売上総利益	34,324	33,786	△1.6%
販売費及び一般管理費	28,248	26,872	△4.9%
(売上高販管费率)	44.6%	42.4%	(△2.2pt)
営業利益	<b>6,075</b>	<b>6,914</b>	<b>+13.8%</b>
(売上高営業利益率)	9.6%	10.9%	(+1.3pt)
経常利益	<b>5,994</b>	<b>7,203</b>	<b>+20.2%</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>4,000</b>	<b>4,918</b>	<b>+22.9%</b>
1株当たり四半期純利益(円)	111.78円	130.33円	---

# 連結売上高

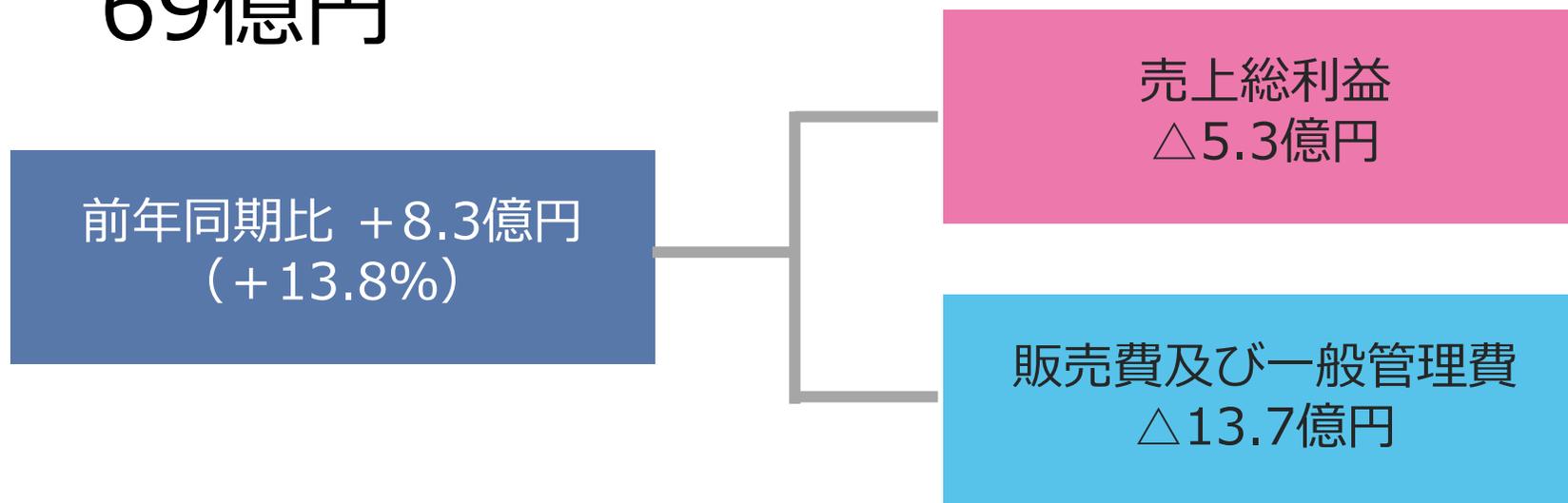


## 主な理由

- ①新型コロナウイルス感染症の影響
- ②メルスプラン会員数の増加（前年同期比）

# 連結営業利益

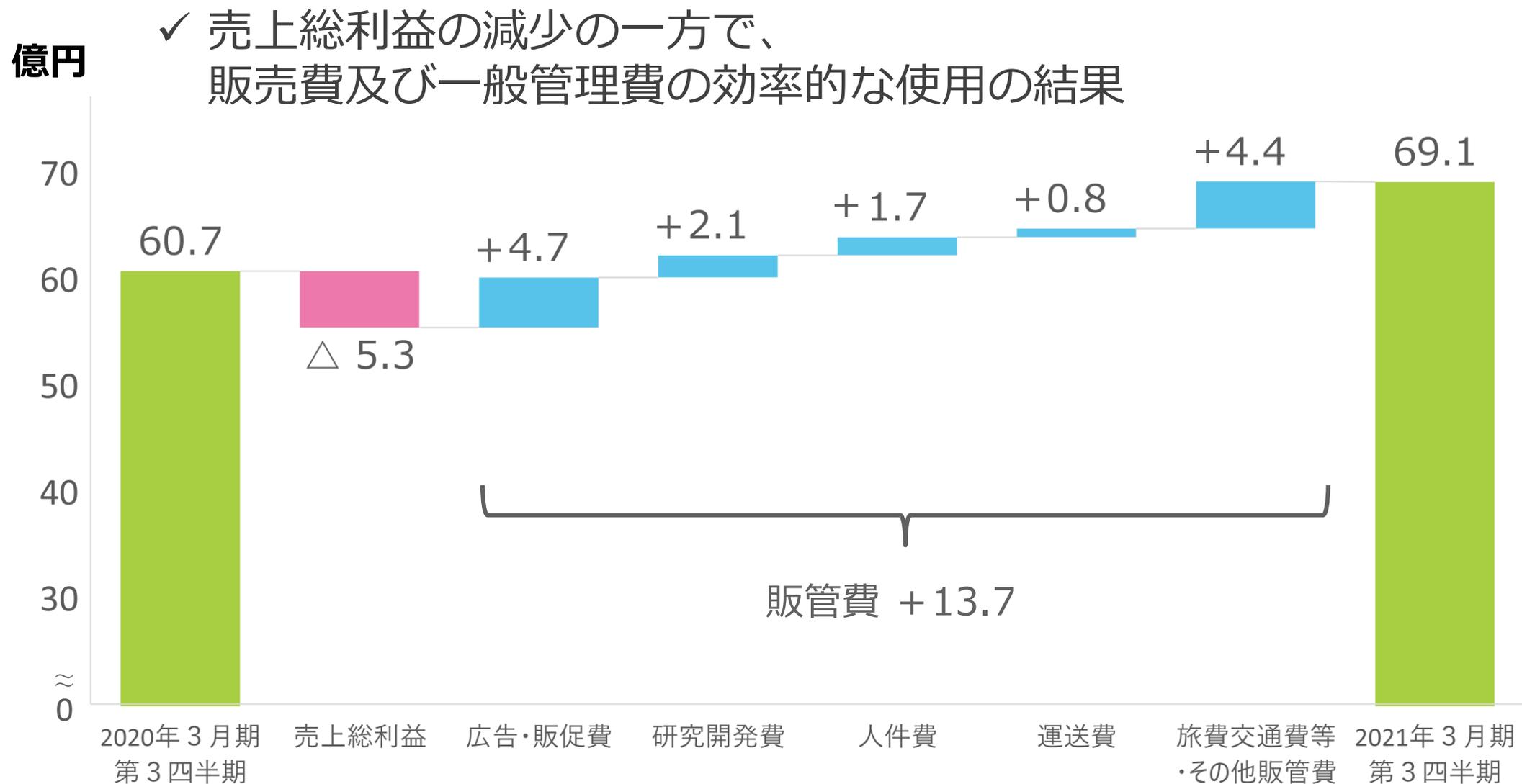
## 69億円



### 主な理由

原価率の上昇による売上総利益の減少  
販売費及び一般管理費の効率的な使用

# 連結営業利益分析



# 売上高の内訳①

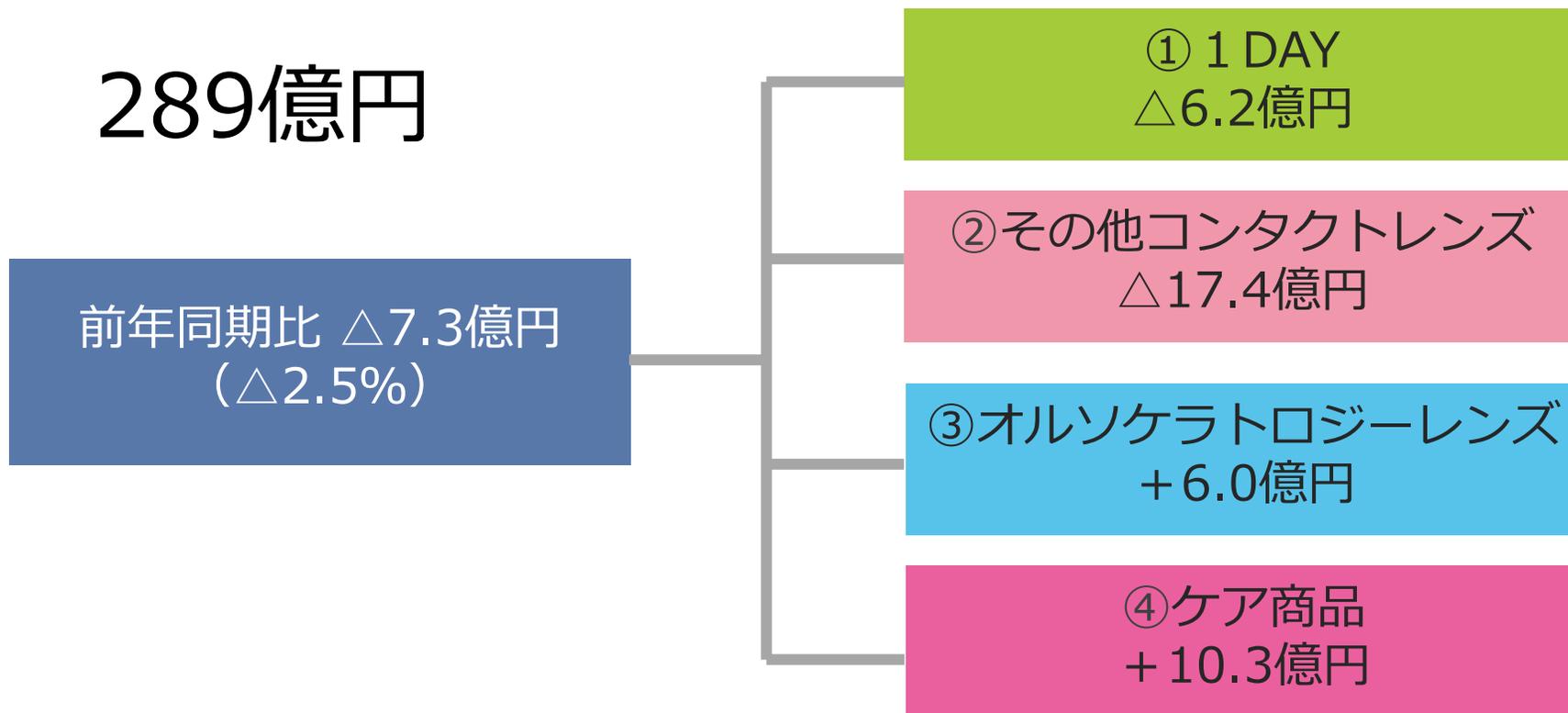
製品及びサービス別

百万円

		2020年3月期 第3四半期	2021年3月期	
			第3四半期	前年同期比
連結売上高		63,344	63,421	+0.1%
	コンタクトレンズ ・ ケア商品	29,718	28,987	△2.5%
	メルスプラン	31,990	32,810	+2.6%
	その他	1,635	1,623	△0.8%

※「その他」に新規事業を含んでいます。

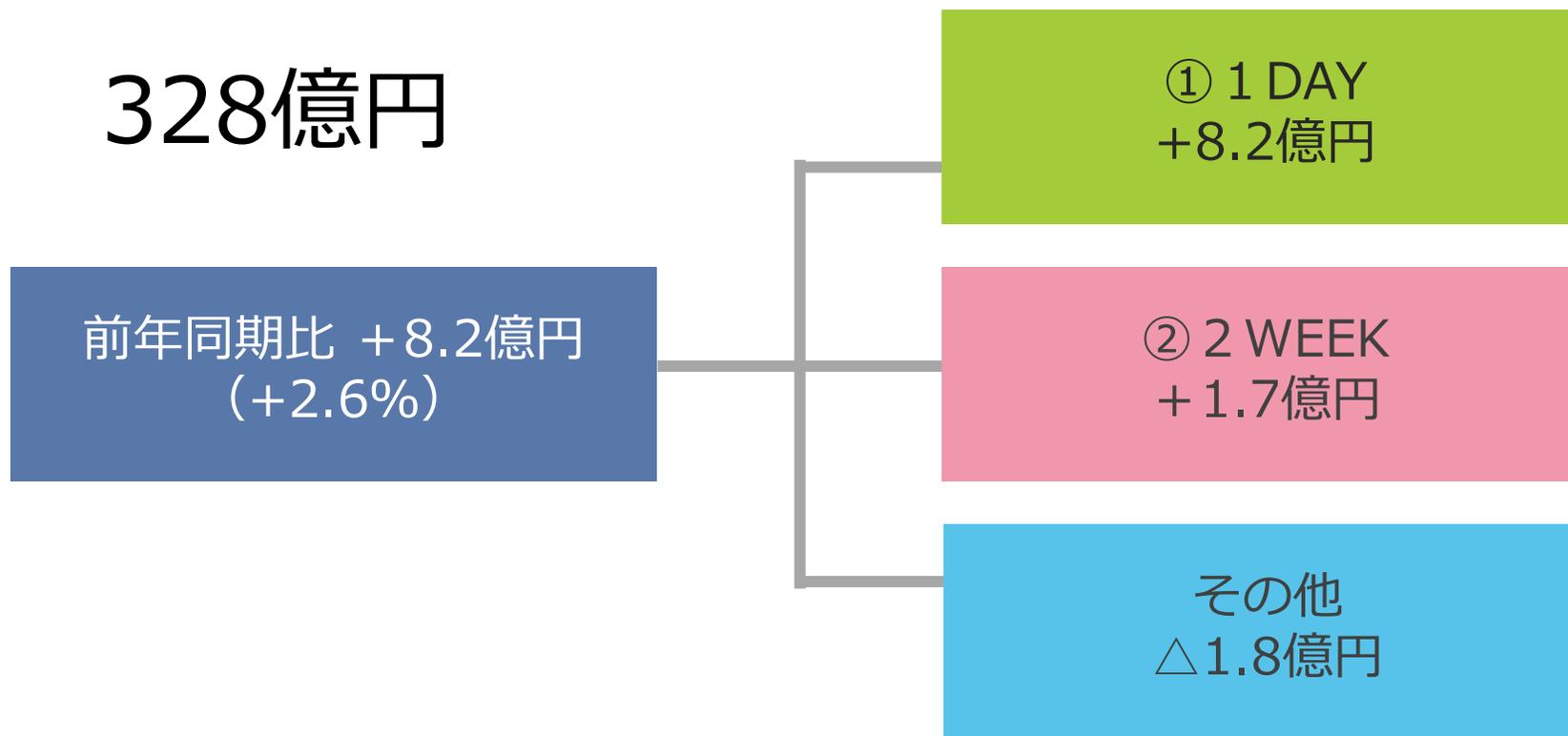
# 売上高の内訳①    コンタクトレンズ・ケア商品売上



## 理由

- ①② 新型コロナウイルス感染症の影響で販売が減少
- ③④ 中国での販売が堅調

# 売上高の内訳① メルスプラン売上



## 理由

- ① 1 DAY会員数が伸長
- ② 2 WEEK会員数が堅調

## 売上高の内訳②

地域別

百万円

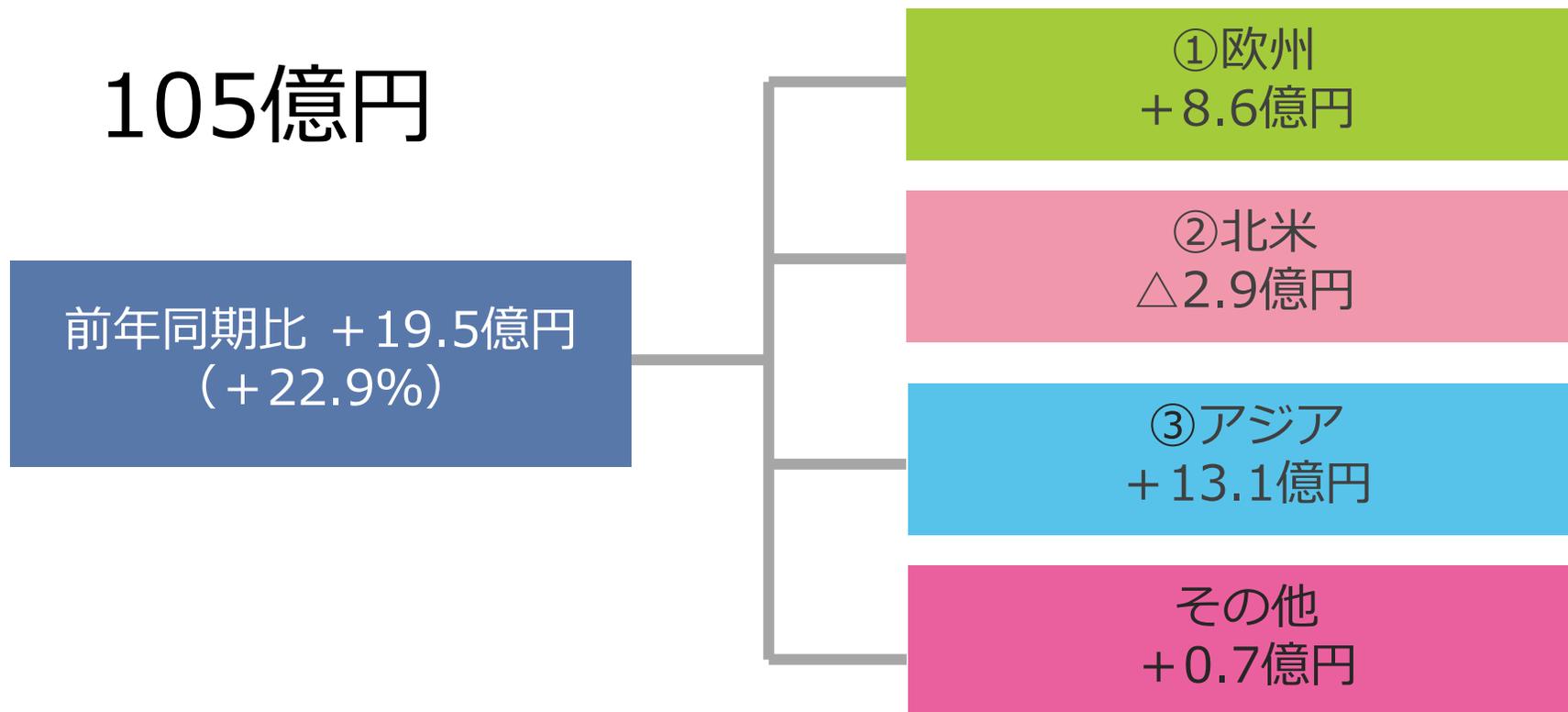
		2020年3月期	2021年3月期	
		第3四半期	第3四半期	前年同期比
連結売上高		63,344	63,421	+0.1%
国内売上高		54,797	52,916	△3.4%
海外売上高		8,547	10,504	+22.9%
欧州		4,618	5,479	+18.7%
北米		853	555	△35.0%
アジア ※ 1		2,845	4,163	+46.3%
その他 ※ 2		230	305	+32.9%

参考:期中平均レート(円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期
EUR	121.12	122.61
USD	108.89	105.54

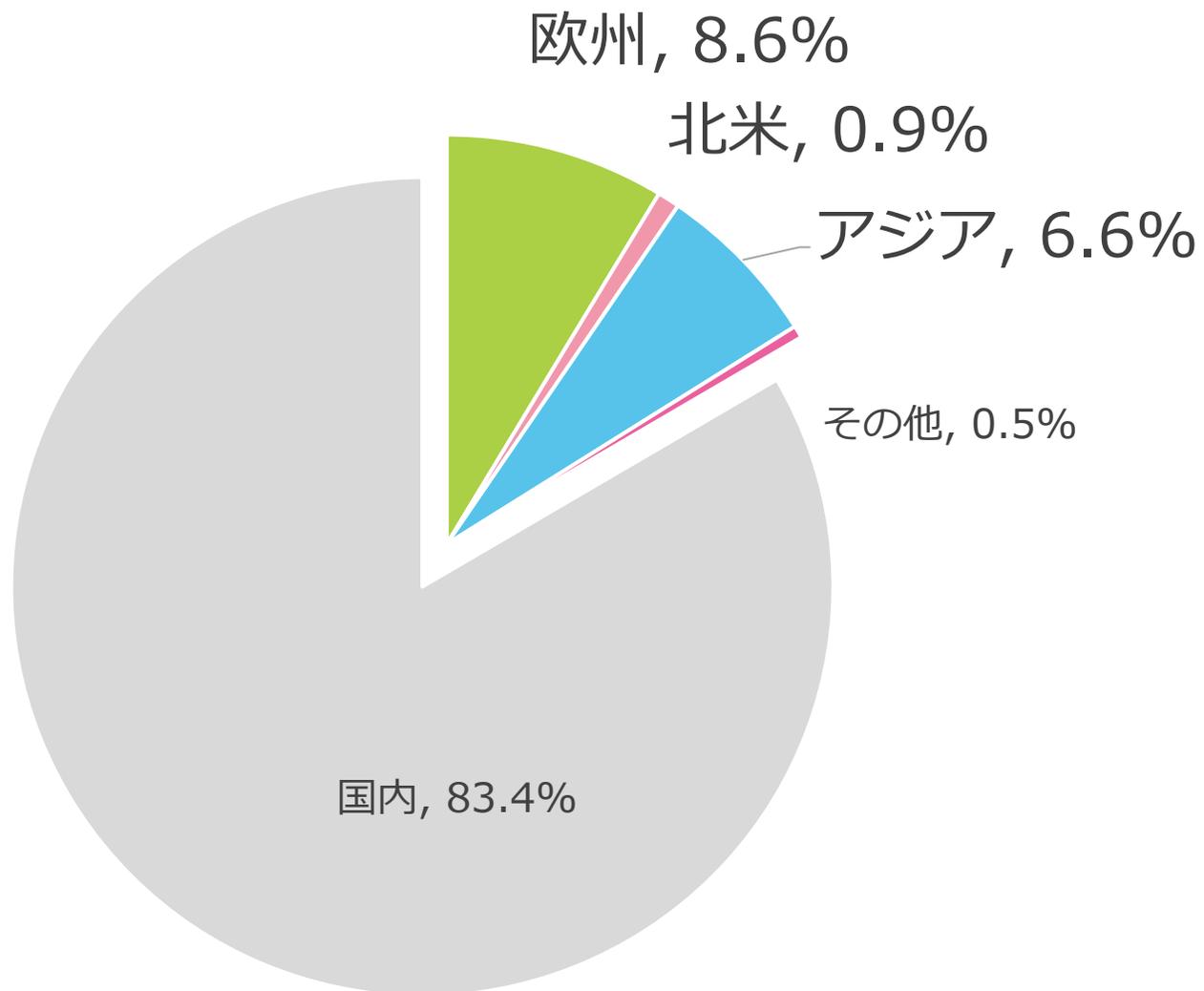
※ 1 「アジア」に国内の代理店を通じた中国への主要な輸出を含んでいます。

※ 2 「その他」にオセアニア、アフリカ等を含んでいます。

**理由**

- ①欧州:イタリア SOLEKO S.p.A.のグループ加入
- ②北米:新型コロナウイルス感染症の影響
- ③アジア:オルソケラトロジーレンズ・ケア商品が堅調

# 海外売上高比率



# 連結貸借対照表サマリー

百万円

	2020年 3月31日	2020年 12月31日	増減
現金・預金	17,327	24,068	+6,740
受取手形・売掛金	9,733	10,275	+541
棚卸資産	12,930	14,436	+1,506
その他	1,730	1,867	+136
流動資産	41,722	50,648	+8,925
有形固定資産	34,672	38,412	+3,740
無形固定資産	7,064	7,737	+673
投資その他	3,826	3,922	+95
固定資産	45,564	50,073	+4,508
資産合計	87,286	100,721	+13,434

1DAY工場  
設備等

	2020年 3月31日	2020年 12月31日	増減
支払手形・買掛金	4,373	3,956	△ 416
短期有利子負債	4,060	8,175	+4,114
未払金	4,583	3,807	△ 775
その他	8,733	7,377	△ 1,356
流動負債	21,751	23,317	+1,566
長期有利子負債	9,368	16,722	+7,353
長期未払金	1,485	1,462	△ 22
その他	1,160	1,254	+93
固定負債	12,014	19,439	+7,424
負債合計	33,765	42,756	+8,990
純資産合計	53,520	57,964	+4,444

運転資金等

設備投資資金  
及び  
運転資金等

2020年12月31日

自己資本比率	57.4%
現金・預金残高	24,068
有利子負債	24,897

## Ⅱ.2021年3月期通期 連結業績予想



## 連結業績予想修正 (2021年2月12日発表)

### ➤ 2021年3月期 連結業績予想

売上高：通期予想 858億円 増減率 **+1.2%**

- ・メルスプラン：会員数134万人を予想
- ・物販：安定的な需要と中国での販売伸長を予想

売上総利益：通期予想 460億円 増減率 **+1.3%**

売上高に伴う増加を予想

営業利益：通期予想 80億円 増減率 **+17.1%**

春の需要期に向けた販売促進費の使用を計画する一方、  
販管費の効率的な使用による売上高販管費率の低減効果を見込む

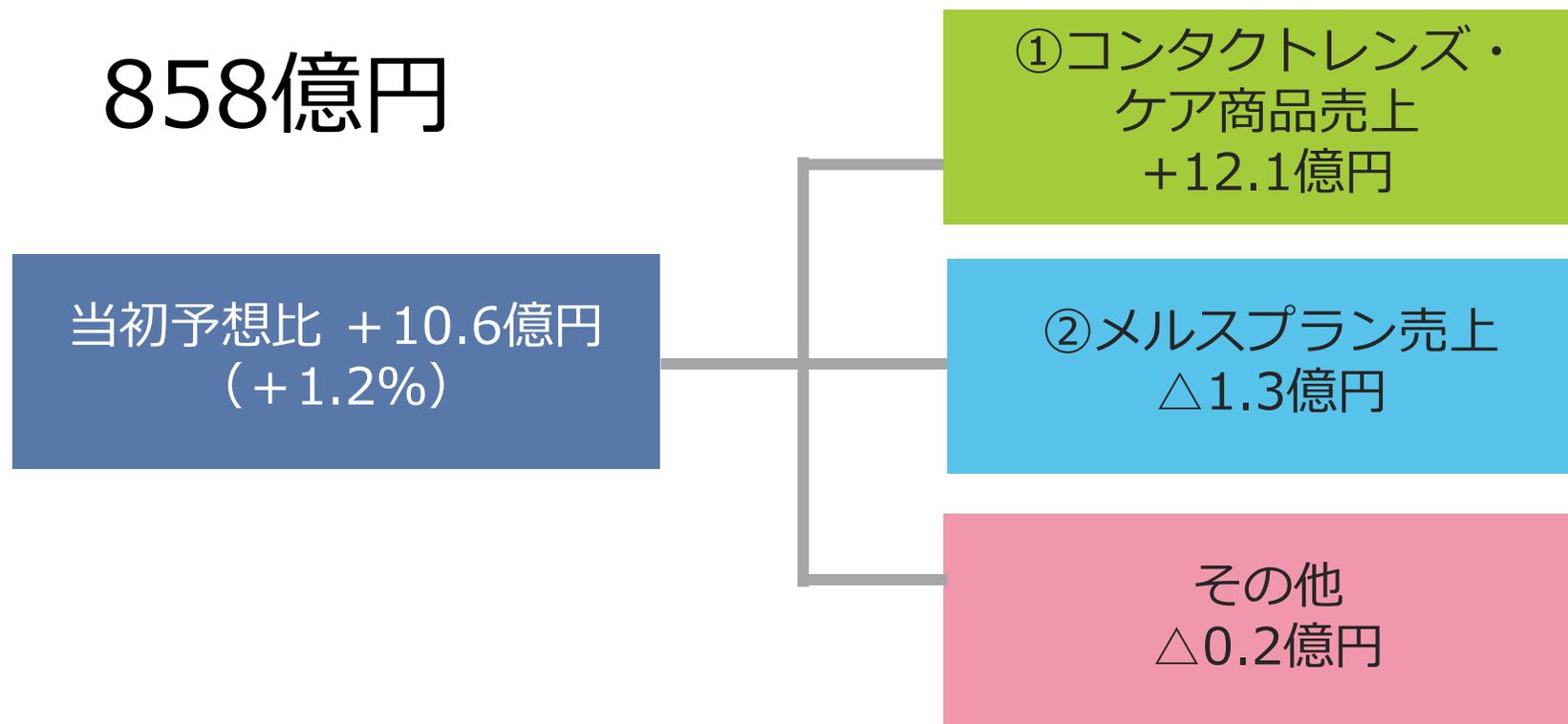


# 連結業績予想 (2021年2月12日発表)

百万円

	2021年3月期 当初予想		2021年3月期 修正予想	差 異	増減率
売 上 高	<b>84,839</b>	⇒	<b>85,899</b>	+1,060	+1.2%
売 上 原 価	39,411		39,866	+454	+1.2%
( 原 価 率 )	46.5%		46.4%	(△0.1pt)	---
売 上 総 利 益	45,427		46,032	+605	+1.3%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	38,588		38,026	△562	△1.5%
( 売 上 高 販 管 費 率 )	45.5%		44.3%	(△1.2pt)	---
営 業 利 益	<b>6,838</b>		<b>8,006</b>	+1,167	+17.1%
( 売 上 高 営 業 利 益 率 )	8.1%		9.3%	(+1.2pt)	---
経 常 利 益	<b>6,821</b>		<b>8,223</b>	+1,402	+20.6%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	<b>4,256</b>		<b>5,308</b>	+1,052	+24.7%
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	112.78円		140.63円	+27.85円	---

## 連結売上高予想

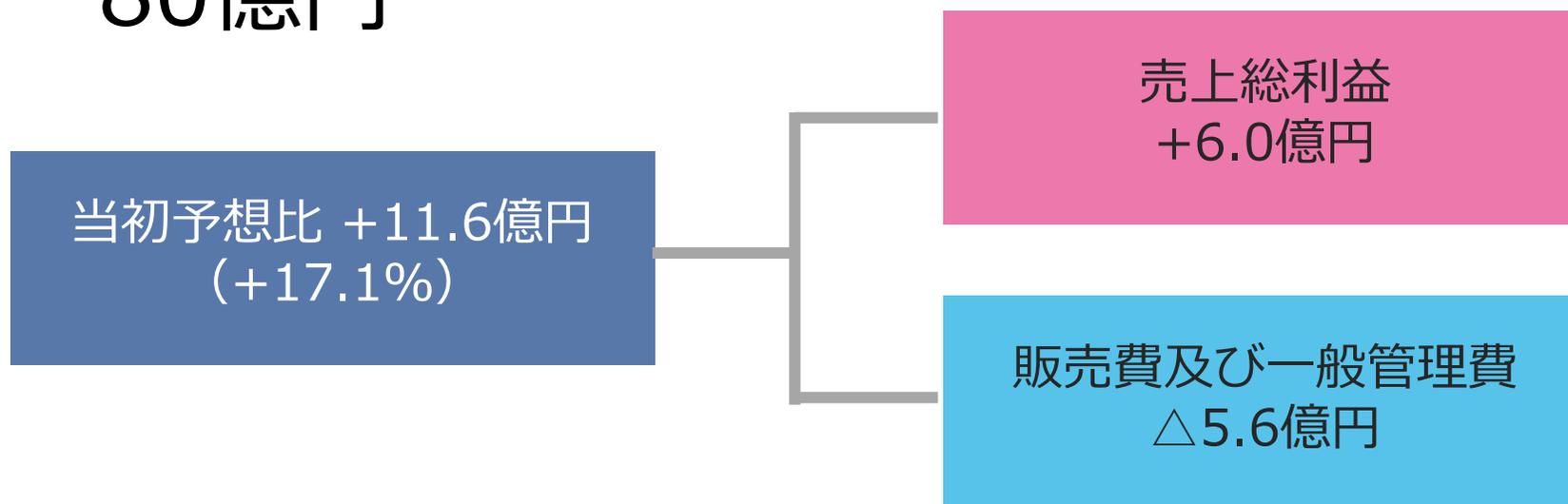


## 主な理由

- ①中国におけるオルソケラトロジーレンズとケア用品の販売増加を予想
- ②国内における2回目の緊急事態宣言発出による影響を予想

## 連結営業利益予想

80億円



## 主な理由

売上高増加に伴う売上総利益の増加を予想  
販売促進費等使用の一方、売上高販管費率の低減を見込む

# 連結業績進捗状況

百万円

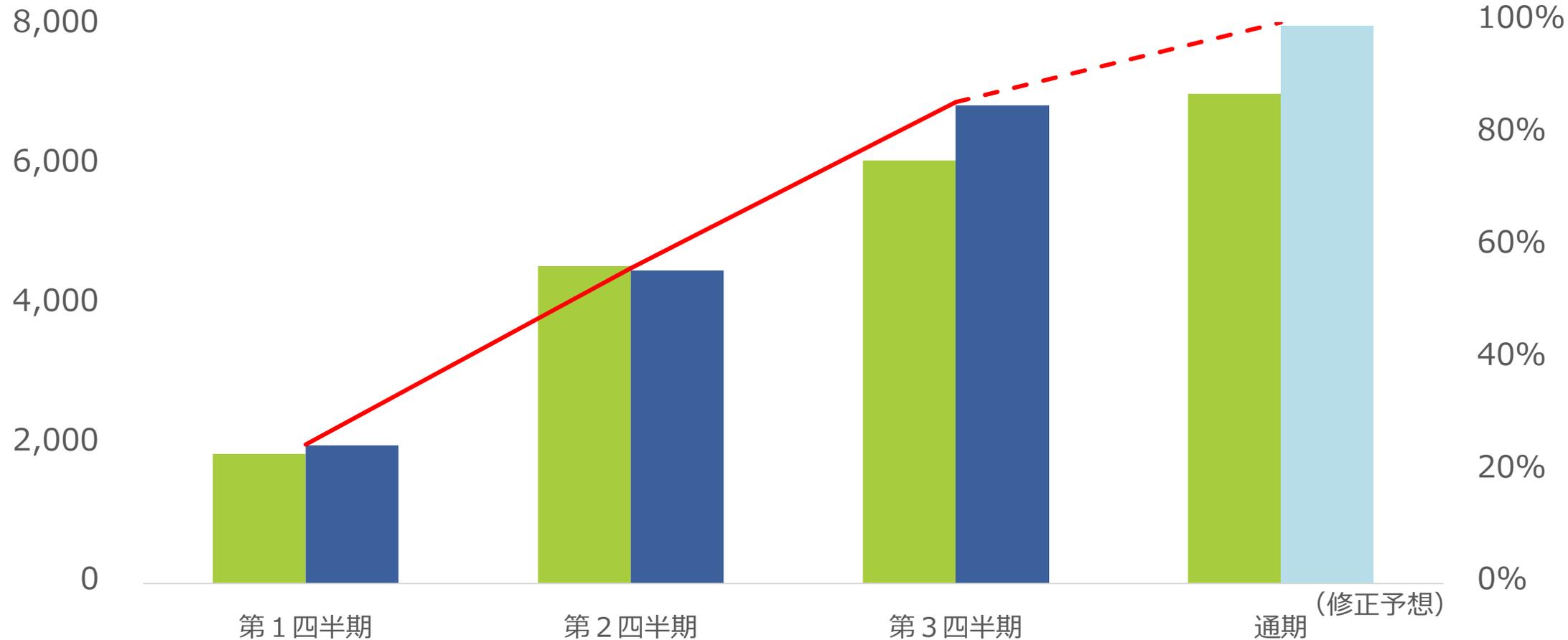
	2020年3月期 実績		2021年3月期 第3四半期実績		2021年3月期 修正予想		進捗率
売上高	84,519		63,421		85,899		73.8%
(原価率)	46.5%		46.7%		46.4%		---
売上総利益	45,227	⇒	33,786	⇒	46,032		73.4%
営業利益	7,033		6,914		8,006		86.4%
(売上高営業利益率)	8.3%		10.9%		9.3%		---
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	4,060		4,918		5,308		92.7%



# 連結營業利益

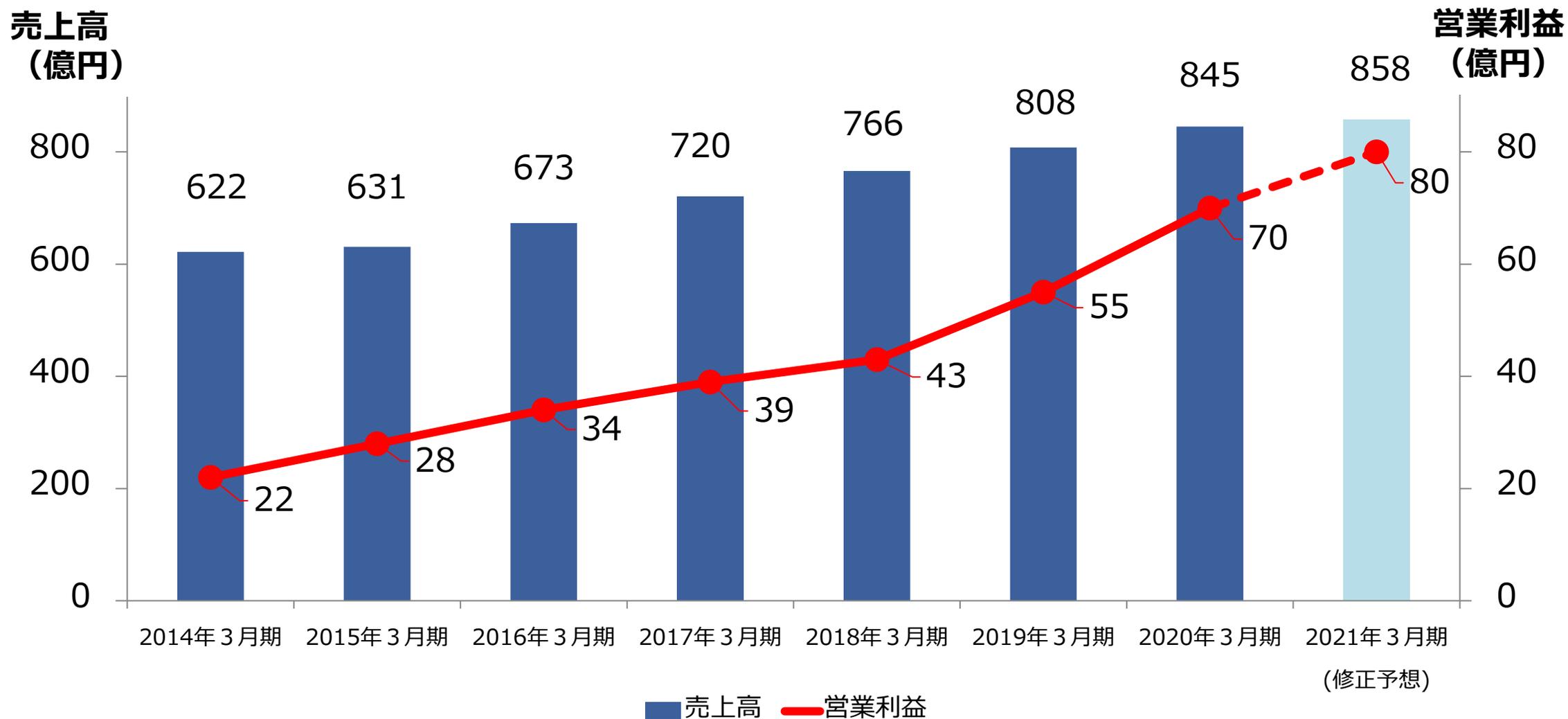
營業利益  
(百万円)

進捗率

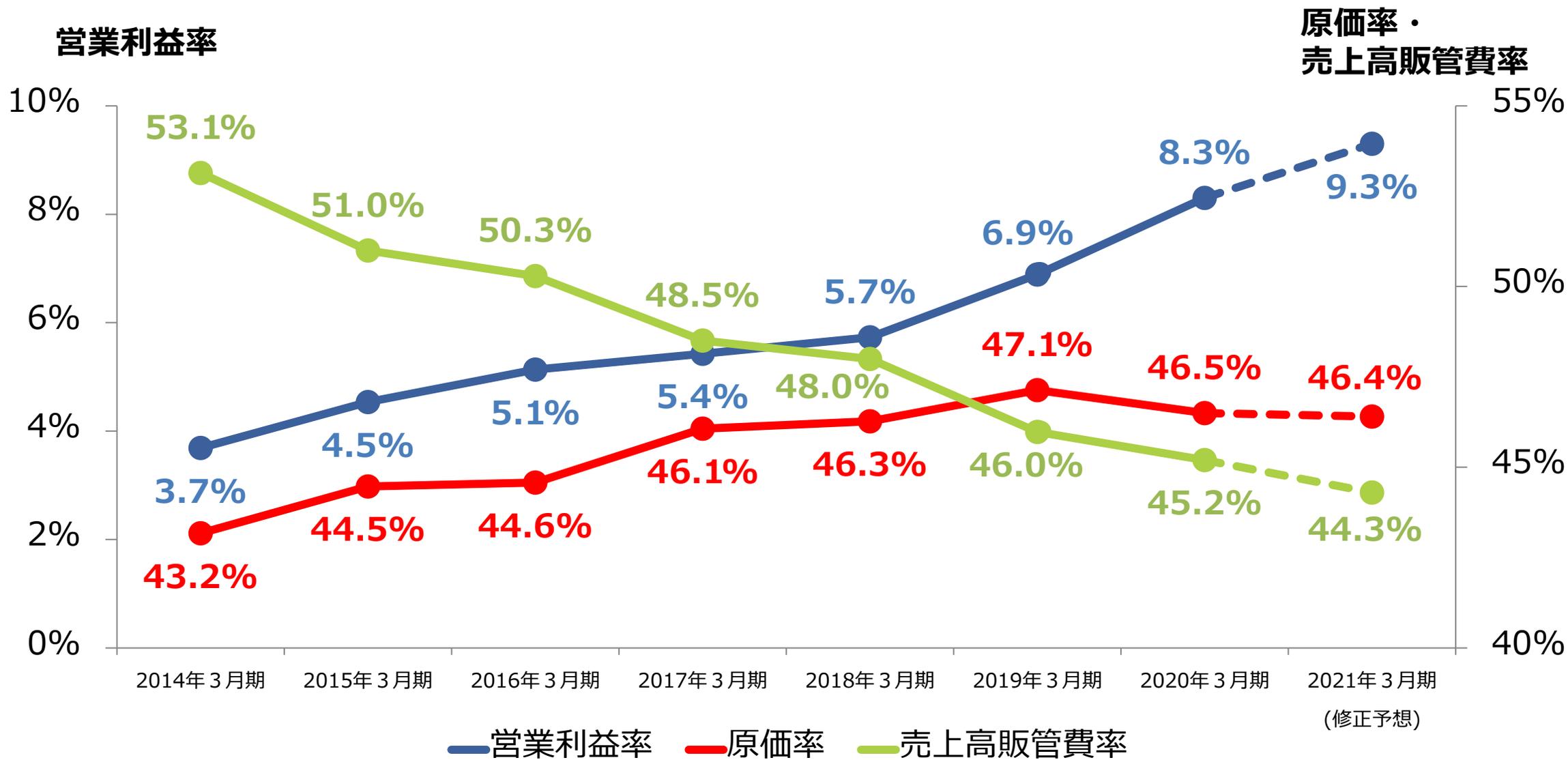


■ 2020年3月期営業利益   
 ■ 2021年3月期営業利益   
 — 2021年3月期進捗率(修正予想)

# 連結売上高・連結営業利益推移

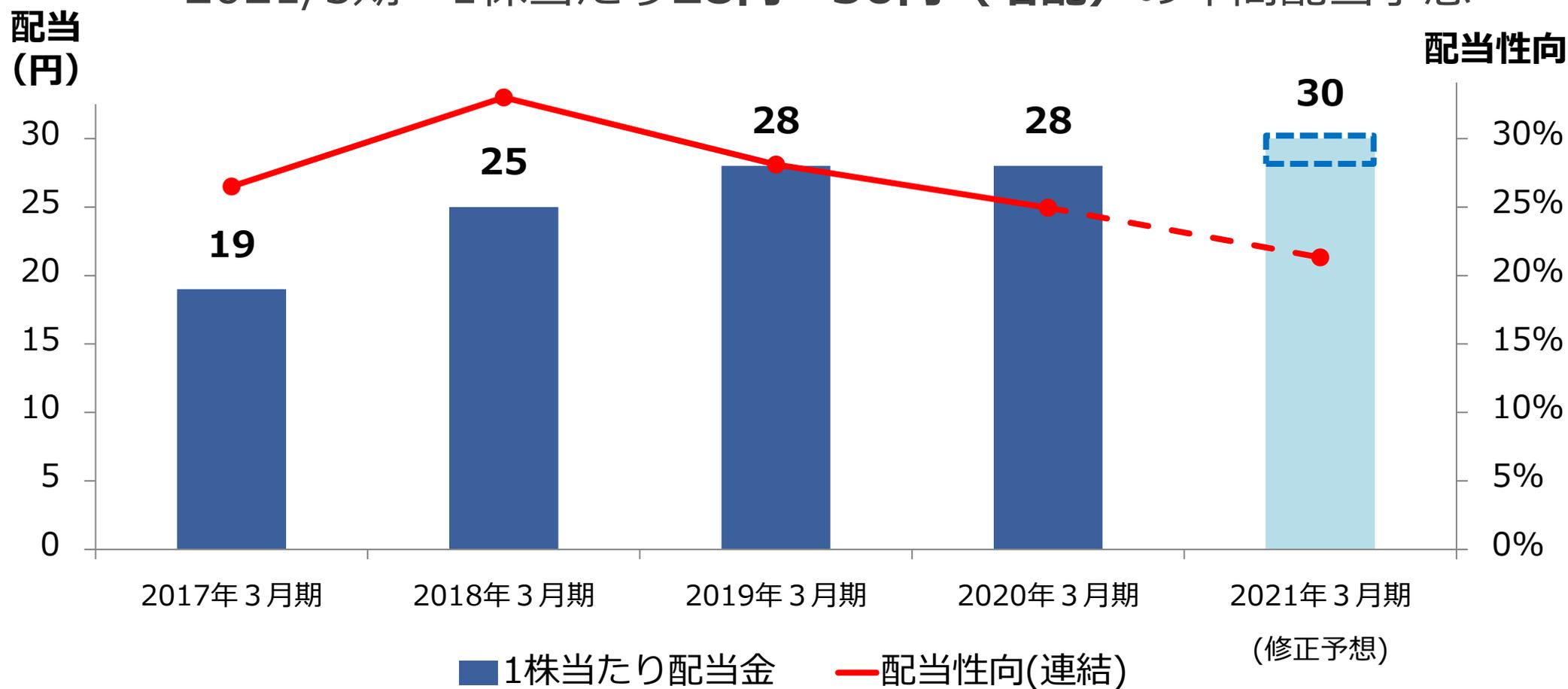


# 原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



# 配当予想修正 (2021年2月12日発表)

✓ 2021/3期 1株当たり**28円**→**30円 (増配)** の年間配当予想



※配当金は2017年3月期の期初に株式分割されたと仮定して計算しております。

## Ⅲ.成長戰略



# 顧客コミュニケーション強化

- ✓ コンタクトレンズユーザー向けWEB サイト・  
自社ポイントサービススタート



コンタクトレンズユーザーへの情報発信  
総合サービスサイト「クラブメニコン」



- ・メルスプラン会員サービス
- ・コンタクトレンズに関する動画コンテンツ

<https://www.clubmenicon.jp>



自社ポイントサービス「メニコイン」



メル助

※イメージ

ケア用品・メニコン公式キャラクター「メル助」グッズ、WAON ポイント・nanaco ポイント等の汎用ポイントにも交換可

# 1 DAYコンタクトレンズ

✓ 1DAYコンタクトレンズの販売拡大戦略を継続

欧州・米国での製品販売  
OEM供給の拡大  
中国での販売



「1DAY FRUTTIE」  
サークルレンズ



「1DAYメニコン プレミオ」  
生産ライン増設

# オルソケラトロジーレンズ（中国）

✓ 拡大する中国市場における体制構築を推進

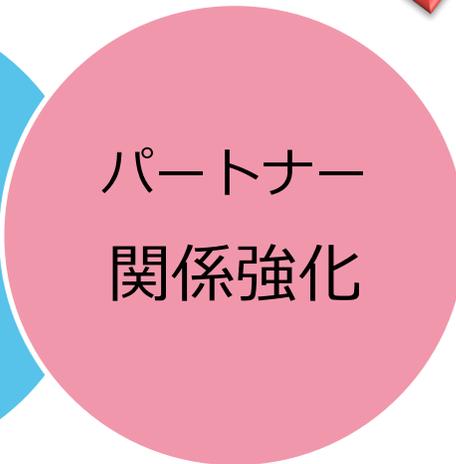
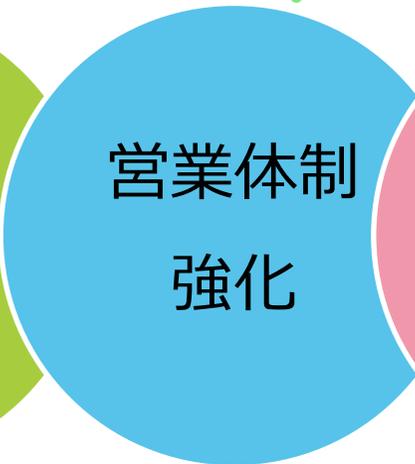


## 板橋貿易

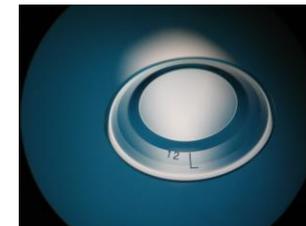
医療機器販売・輸出入  
2021年1月 完全子会社化  
営業体制強化



メニコンネクト  
ケア用品製造  
生産体制強化



## α ORTHO-K



アルファコーポレーション  
オルソケラトロジーレンズ製造  
2020年11月中国現地法人設立  
2024年の量産開始を目指す



温州医大附属眼視光医院  
業務提携

# ライフサイエンス事業

✓ 機能性表示食品のサプリメント ラインアップを充実

「めにサプリ GABA（ギャバ）」

2020年11月



「めにサプリ クロセチン」

2020年11月



「めにサプリ ビルベリー+M」

2021年1月



アミノ酸, ビタミン, ミネラル,  
不飽和脂肪酸などの栄養素を  
含むユーグレナをベースに  
機能性関与成分「GABA」配合

目のピント調節をサポート  
する機能と睡眠の質を高め、  
起床時の眠気や疲労感を和ら  
げる機能が報告されている  
「クロセチン」配合

目の潤いとピント調節機能を  
サポートし、目の疲労感を  
緩和することが報告されている  
ビルベリー由来の機能性関与成分  
「アントシアニン」配合

# ライフサイエンス事業

## ✓ オンラインショップを運営

<https://menicon-lifescience-online.com>

コンタクトレンズメーカーの「メニコン」が輝く女性の毎日を応援!

ヘルスケア、ビューティーケア、ヘルスサポートに関する各種製品を販売

新商品もラインアップ



めにサプリのサブブランド「めにサプリ セレクト」

ケアクレンジングジェル「メトメ」30

# スマートコンタクトレンズの共同開発

✓ Mojo Vision Inc.とスマートコンタクトレンズの共同開発契約を締結

## スマートコンタクトレンズ Mojo Lens

拡張現実（AR）を利用し、「みる」ことのサポートからオンデマンド情報まで  
映像・文字を提供するディスプレイの役割も果たすコンタクトレンズ



スマートコンタクトレンズの  
マイクロエレクトロニクスから  
システムまで開発

幅広いジャンルのコンタクトレンズを  
自社技術で生産可能

スマートコンタクトレンズに最適な  
素材と製造方法を開発

フィジビリティ・スタディ開始

# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2021年2月12日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先

株式会社メニコン 財務&IR部

E-mail : [menicon-ir@menicon.co.jp](mailto:menicon-ir@menicon.co.jp)

[www.menicon.co.jp/company](http://www.menicon.co.jp/company)